

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年 6月10日

【評価実施概要】

事業所番号	1072100470
法人名	特定非営利活動法人緑風会
事業所名	グループホーム大清水
所在地	群馬県高崎市箕郷町柏木沢158-2 (電 話) 027-371-0231

評価機関名	特定非営利活動法人 群馬社会福祉評価機構
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12
訪問調査日	平成20年5月21日

【情報提供票より】(20 年 4月 21日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 13年 12月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 7人, 非常勤 2人 常勤換算	6.5人

(2)建物概要

建物構造	木造造り		
	2 階建ての	1 階 ~	1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,100 円	その他の経費(月額)	
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	250 円	昼食 250 円
	夕食	250 円	おやつ 食材料費に含む 円
	又は1日 750円		

(4)利用者の概要(4月 21日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	3 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	1 名
年齢	平均 87.2 歳	最低 74 歳	最高 98 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	戸塚医院 ・ 佐藤医院 ・ 森山歯科医院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

榛名山麓の田畑が広がる小高い丘の中腹に立地し、四季折々の豊かな自然がある。庭には大きな桜の木があり、季節の花々が玄関先まで植えられ、瓦ぶき木造2階建てのグループホームである。理事長、管理者、全職員は理念に謳われている「家庭的、家族的」をモットーに、入居者に敬愛の念を持ち、ひとり一人が自分らしく楽しんで暮らせるよう見守り、支援に取り組んでいる。入居者は近くを散歩したり、月に1〜2回は全員で外食をしたり、花咲く公園や自然風景を見にドライブする等、職員と喜怒哀楽を共にし、日々生活している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	昨年の外部評価の結果を踏まえ、感染症のマニュアルを作成し、医療機関による講習会を開催したり、事業所内で勉強会を開催し、感染症に対処できるようにしている。また、昼食時に職員と入居者が共に食事を摂り、コミュニケーションを図り食事を楽しめるよう努める等、具体的な改善に取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価の意義や目的を、全職員が理解している。自己評価は、職員の意見を求め、管理者が作成している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月毎に、運営推進会議を開催している。会議では、ホームの活動状況や入居者の状況、行事計画、外部評価結果の取り組み等を報告しているが、出席者からの意見は少ない。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	運営に関する苦情相談窓口を説明書に明示し、入居時に説明をしている。また、玄関に意見箱を設置している。3ヶ月毎に意見や要望のアンケートを実施したり、家族の面会時に雑談しながら意見や要望を聞くように努めている。職員が大きい字の解り易い名札を付けるようにする等、家族の要望をサービスに活かしている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近くの保育園や小学校・高校の行事に招待され、参加している。また太極拳や歌の指導でボランティアの方の訪問はある。管理者が地元出身なので、地域の行事や出来事を把握しているが、近隣の方の事業所への訪問はない。

2. 評価報告書

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員は、入居者に敬愛の念を持ち、家族のように接し、ひとり一人の希望に添っての生活支援を理念に謳っている。	○	地域密着型サービスとして地域の中での生活支援の実践を考えた内容の見直しを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、ホールに掲示されている。毎月の会議で、理念を掘り下げ、話し合いをし、具体的には入居者の一人ひとりの人格尊重をした対応の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近くの保育園や小学校・高校の行事に招待され、参加している。また太極拳や歌の指導でボランティアの方の訪問はある。管理者が地元出身なので、地域の行事や出来事を把握しているが、近隣の住民との交流まで到っていない。	○	今後も地域住民の一員として、地域に受け入れられ、地域活動や人々との関わりを積極的にもつような機会づくりに努めていただきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義や目的を、全職員が理解している。自己評価は、職員の意見を求め、管理者が作成している。昨年の外部評価の結果を踏まえ、感染症のマニュアルを作成し、勉強会を開催したり、昼食時に職員と入居者が共に食事をする等改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に、運営推進会議を開催している。会議では、ホームの活動状況や入居者の状況、行事計画、外部評価結果の取り組み等を報告している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者には、ホームの利用状況報告や介護サービス等の相談をしている。財団法人介護労働安全センターの実習場所として、本ホームに依頼があり受け入れている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	健康状態や暮らしぶりは、家族来訪時に伝えている。来られない家族には、電話で伝えている。また、3ヶ月毎の介護プランのアンケートと生活風景や行事の写真を郵送し、報告している。利用者は、基本的には金銭を保持しないので、必要時立替えて、毎月の請求額と共にレシートを提示し支払ってもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営に関する苦情相談窓口を説明書に明示し、入居時に説明をしている。また、玄関に意見箱を設置している。3ヶ月毎に意見や要望のアンケートを実施したり、家族の面会時に雑談しながら意見や要望を聞くように努めている。職員が大きい字の解り易い名札を付けるようにする等、家族の要望をサービスに活かしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職例は少ないが、職員の動きがある場合は早めに人材を確保し引き継ぎを行い、新しい職員は入居者に紹介し馴染みの関係作りに努力している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、事業所内外の学習会や研修会参加を、奨励している。グループホーム連絡協議会の研修会やその他研修会には職員が交替で参加し、報告書を提出し、会議にて研修内容の報告をし、全職員が共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県内のグループホーム連絡協議会の研修会、医療機関の講習会に参加し、交換研修や他のグループホームの見学等を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族に事業所を見学してもらい、ホームの雰囲気を知ってもらうようにしている。職員や他の入居者と徐々に馴染めるように、家族やそれまで関わっていた関係者と相談しながらサービスを開始している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者は人生の先輩であり、職員は敬愛の念を持って接している。一人ひとりの得意分野や昔の話を話題にして、コミュニケーションをする工夫をしている。歌の好きな方、塗り絵をする方等と一緒に楽しみ、お萩や饅頭作りを教えてもらう等場面作りをしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや暮らし方の希望を、居室で面談し聞いている。言葉で表現できない方は、家族から情報を得たり、普段の表情や態度から汲み取るようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアマネージャーは本人や家族と日頃関わり、要望を聞いている。介護職員から情報を得て、月に1回行なわれるケースカンファレンスで全職員で話し合い、介護計画に活かしている。作成した介護計画書は、家族に確認して頂いている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的に見直しを行い、状態が変化した際には、その都度職員は話し合いの機会を持ち、家族に連絡をして介護計画の見直しをしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況に応じて入居者の通院、入院時の同行をしている。また、国民健康保険や年金等の手続きの代行等をしている。理事長が美容師で、入居者のヘアカットを行なう等、整髪の支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医を受診している。また、事業所の協力医がかかりつけ医となっている入居者には、月に2回の訪問診療があり、健康管理の指導もしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームの方針として、看取りをしている。家族の希望により、ホーム内で看取りをしたことがある。重度化の場合は、状況に応じ入院支援等をしている。重度化や終末期のケアについては、本人や家族の意向を踏まえてかかりつけ医と相談している。全職員が方針を共有し、支援している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会や会議で、職員の意識の向上を図っている。「だめ」等の否定的な言葉で本人を傷つけてしまわないような言葉かけやトイレ誘導の際のさり気ない対応等に配慮している。職員は、記録や個人情報は事務室で管理し、取り扱いに留意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日その時の本人の気持ちを尊重し、ベランダで日向ぼっこをしたり、自室でのテレビ観賞をしたり、散歩をして支援している。一人ひとりの体調に配慮しながら、体調不良時には居室で食事をする等柔軟に対応している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と職員は、テーブルを拭いたり、食事の準備や後片付けと一緒にやっている。時には、ホームの畑で取れた野菜が材料となり、入居者に下ごしらえをしてもらっている。入居者に希望の献立を聞いたり、職員一人が必ず入居者と共に食事をして楽しい食事になるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は、週2回午前中と決められているが、その日の体調や希望で入浴を翌日にしたり等対応している。また、入浴されない場合は、シャワー浴や清拭をして衛生面に配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯ものたたみ、早朝の庭先の掃除、食事の下準備や後片付け、おはぎや饅頭作り等の入居者の経験や知恵を活かした場面を作っている。また、塗り絵、歌、散歩やドライブ等ひとり一人の楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	犬好きな入居者には犬のいる隣家へ外出を勧めたり、天気の良い日は皆で散歩に出かけている。月に1～2回は外食したり、芝桜やポピーの花見に近くの公園にドライブする等外出支援を行っている。		
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけず、見守りの方法を徹底し、自由な暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、年1回は消防署の指導の下、避難、火災予防訓練を実施している。近隣の方には避難場所への誘導を含めて協力を依頼しており、飲料水や非常用食料の備蓄をしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分の摂取状況は、チェック表に記録し、職員は情報を共有している。一人ひとりの嗜好を把握し、また治療の必要な方には特別食を提供し、嚥下困難な方には刻み食や粥食を提供する等、体調に合わせての食事内容に配慮している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホール中央にはテーブルがおかれ、その横には大画面のテレビが置かれている。南面の廊下には椅子が置かれ、窓から植木や花が眺められる空間となっている。ホールの横の台所からは茶碗を洗う音、ご飯の炊ける匂いを感じられ、季節の花が花瓶に生けられ、五感や季節感を意識的に取り入れる工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や使い慣れた日用品、箆箆や仏壇が居室に持ち込まれ、居心地よく過ごされるよう配慮されている。		